



『未来を見据えて』

～Road to the Future～

東京六本木ロータリー・クラブ会長

T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



W E E K L Y R E P O R T

『地域を育み、大陸をつなぐ』

～Building Communities

-- Bridging Continents --

国際ロータリー・クラブ会長

発行日 2010年10月4日

第246号

2010-2011年度 No. 11

本日のプログラム

平成22年10月4日

『クラブ協議会』

クラブからのお知らせ [9月27日例会]

● 会長

本日は「秋の夜長を楽しむ会」にご参加頂きありがとうございます。

気温が20度を割り込み、猛暑が終わったら秋がなく冬になってしまったような気候です。

どうぞ宜しくお願い致します。

● 幹事

- 11月8日(月)16時より、インターシティミーティング(IM)が行われます。

辰野ガバナー(東京西RC)のためにも多くの方の登録をお願い致します。

登録料は会負担ですので、出席宜しくお願い致します。

- 11月9日、恵比寿RCの15周年式典がウェスティンホテル東京で行われます。

- 米山奨学委員会より、寄付のお願い

9月お誕生月の会員



片岡 雅敦さん
浅田 豊久さん
鈴木 エドワードさん
森 佳子さん
マウラー・ピー・リードさん
荻田 吉夫さん(例会は欠席)





東京六本木ロータリー・クラブ

T O K Y O
R O P P O N G I
R O T A R Y C L U B

平成22年9月27日

『秋の夜長を楽しむ会』

酷暑!残暑を乗り越えて・・・六本木の秋み～つけた!

2010年9月27日19時よりグランドハイアット東京2階フレンチキッチンにて、東京六本木ロータリー・クラブ『2010-2011年度 秋の夜長を楽しむ会』が、テーマ「酷暑!残暑!を乗り越えて・・・六本木の秋み～つけた!」と題して開催されました。

当初はテラスを利用して行う予定でしたが、朝からの雨により急遽フレンチキッチン内での開催となりました。

会場には虫の音が流れ、ステージの後ろにはススキなど秋の草花がデコレーションされていました。親睦会が始まると細野会員のご協力で作られた満月の中に可愛いウサギがお餅をついて遊んでいる秋らしい映像が流れ始め、室内ながらも秋まっ盛りのムードに包まれました。

そして、松本親睦活動委員長により親睦会の開会宣言がされ、柏原会員よりビジター・ゲスト紹介が行われ、山中直前会長より乾杯の御発声を頂き、楽しい親睦会が始まりました。

ビュッフェスタイルで美味しいグランドハイアットのお料理が並び、参加者全員会話も弾みました。

六本木の夜間例会では親睦活動委員会による毎回趣向を凝らした演出が楽しみのひとつですが、今回はいつものビンゴゲームに代わって、昔懐かしい“くじ引き紐”を引いてのプレゼント抽選会が行われました。会員各位のご好意による高額なプレゼントもあり、参加者は正に童心に戻ってそれを争奪せんと盛り上がりました。

最後にゲストで久々にご登場の山本良樹さんによる一本締めで秋の夜長は余韻を残しつつ締めくくられました。

(記:広報委員会)





平成22年9月13日

卓話 『サービス業の難しさ』

株式会社 森ビルホスピタリティコーポレーション
／グランドハイアット東京 代表取締役社長
東京六本木ロータリー・クラブ 会員

大橋 寛治 様

明治のごく始め、外国の文明が日本に入ってきたとき、外国語を日本語に訳すという大仕事の中で、サービスという言葉は「奉仕」と訳されました。その語源はservitusという奴隷とか隷属という意味のラテン語で、これが今日まで良かれ悪しかれ尾を引いていると思います。サービス業では社員はお客様を自分たちより身分の高いお方と思って対応させていただくのが一番いいという慣習になっています。これは日本語に丁寧語が多くて、お客様に対する言葉づかい、態度、共にそういう意識を持って仕事をするのが肝要だという考えが根底にあるからだと思います。

人間は感情の動物です。お客様においでいただいたとき、何か悪い印象が残ると二度と来ていただけません。サービスは普通、心が一番大事だと思いますが、私はむしろ心の前に身だしなみが大事だと思っています。何故なれば出逢いの瞬間で感じの良し悪しが決まってしまうからです。

サービス業の難しい点は、先ず同じことを何回も何回も毎日繰り返すということです。例えばウェ이터、ウェイトレスは、一日100杯くらいのコーヒー、紅茶をお客様のところへ持って行くことはざらです。その際に重要なのは、その都度お客様にいい感じのサービスだと思っていただかないと落第だということです。問題は、同じ仕事の繰り返しであるため、余程気をつけないと、どうしてもマンネリズムに陥るということです。その意味で私どもは新鮮な感覚で仕事に取り組むことが最も大事だと感じております。

禅の言葉に「一日一生、日々元旦」という言葉があります。これは毎日毎日を一所懸命全力を尽くして働き、ぐっすり寝て、翌日はまた元旦を迎えるような新鮮な感覚で仕事に就くということ。ホテルの場合、ベルボーイから受付、ウェ이터、ウェイトレスなど職種が非常に多いのですが、その全てのセ

クションが新鮮な感覚でお客様に接し得るかどうか極めて重要で、それが会社の命運を決めるのだと思います。ホテル事業は懐中時計の鎖のようなもので最後の一つまでパーフェクトでなければならない。さもなくば時計は落ちて壊れてしまいます。例えばお客様がお帰りになる時、駐車場の料金をいただく社員の態度が悪ければ、もうそのホテルは落第です。旧約聖書に「神は細部に宿り給う」という一言があると聞いております。神様は私たちの仕事ぶりを本当に細部にわたって見ておいでになる。この神様の目に応える姿勢が社員全員に必要なのです。



数年前、日経新聞に古川清様という東宮大夫をお勤めになった方が、「古稀の回想」という文章をお書きになりました。その中で氏は、昭和一ケタ世代が経てきた苦労と、道半ばで戦死、病没した先輩、友人を想い、戦後の豊かな生活は「その人たちの人柱の上に立っていると思わざるを得ない」と書かれ、また「自信過剰になり高慢・尊大に振舞うようになった日本人は、不況が長引き世相が荒れている今日、もう一度原点に立ち返り、謙虚さを取り戻して新たな国造りに取り組まなければ、人柱になった方々に申し訳ない」と書いておられます。昭和一ケタの人間が本当に心から言いたいことが詰まっている素晴らしい随筆でしたので引用させていただいた次第です。

私は常に日本人のかつての立派な心を取り戻し、今後の日本の繁栄に繋げなければならないと心より願っているものです。ありがとうございました。



■ ニコニコBOX情報

佐藤 晃一さん(特別代表)

「秋の夜長を楽しむ会」お招きいただき有難う存じます。

小西 恭子さん

親睦活動委員会の皆様、今日の為にありがとうございました。

篠塚 博さん

親睦活動委員会の皆様ご苦労様です。

森 佳子さん

今月は私の誕生月です。
大台に乗ってしまいました。

安間 百合子さん

夜間例会、楽しみにしておりました。親睦委員会の皆さまご苦労様です。

杉本 潤さん

親睦活動委員会の皆様、今夜の準備有難うございました。

齋藤 明子さん

残念ながら雨が降ってしまいましたが、みなさんで盛り上げましょう。よろしくお願い致します。

山口 富久さん

すっかり秋となりました。実りの秋ですので太らないように気を付けましょう。

松本 智さん

突然寒くなりました。暑さ寒さも彼岸までとは、まったくその通りですネ。

9月27日

合 計
累 計47,000円
735,000円

山の手東グループ 10月の例会スケジュール

(9/27掲載への追加情報)

東京西南ロータリー・クラブ

ホテルニューオータニ 火曜日 12:30~

- 5日 卓話 津軽三味線 福豊流師範 福士 豊華 様
12日 卓話 沖電気ネットワークインテグレーション(株)
ビジネス開発本部 シニアスペシャリスト
環境経営プランナー 斉藤 実 様
19日 卓話 元NEC海外技術協力技師長 岩崎 弘三 様
26日 卓話 盲目トロンボーン奏者 鈴木 加奈子 様



■ 次回のプログラム

平成22年10月18日

卓話『江戸三度のはなし』

浅田屋伊兵衛商店株式会社 取締役
東京六本木ロータリー・クラブ 会員

浅田 豊久 様

9月27日の例会出席率(暫定)

会員の例会出席者数 24名

会員の例会出席率 51%

ゲストの参加者数 9名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 篠塚 博 幹事 山口 富久

広報・週報 片岡 雅敦
委員長広報・週報 渡辺 美智子
副委員長事務局 〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>